



令和5年度

沖縄県立那覇特別支援学校

グランドデザイン

本校の教育目標
健やかな身体と
心を育てる

- (1) 「社会参加」(社会と関わり合う、様々な活動に参加する)する力を育てる。
- (2) 「自立」(持てる力を発揮し、自分らしく生きる)する力を育てる。
- (3) 「学ぶこと」を楽しむ、粘り強くやり抜く力を育てる。

笑顔いっぱい元気な 児童生徒	自らの思いを表現できる 児童生徒	素直でみんなと仲良くできる 児童生徒	目標に向かって可能性に挑戦する 児童生徒
かわる力 人間関係形成・社会形成能力	やりぬく力 課題対応能力	かわる力 人間関係形成・社会形成能力	みとおす力・ふり返る力 キャリア・ラング・自己理解・自己管理能力

学校像

- (1) 笑顔があふれ元気に学び合う学校
- (2) 保護者や地域とともに歩み信頼される学校
- (3) 希望(ゆめ)の実現をめざす学校
- (4) 花と緑に囲まれ潤いに満ちた学校

本校のめざす教職員像

- (1) 子どもの力を信じ、愛する教職員
- (2) 実践力と専門性の向上に努める教職員
- (3) 豊かな発想でチャレンジする教職員
- (4) 思いやりがあり、同僚性(それぞれの知識や経験を元に相互に授業力を高めていけるような関係のあり方)を高め合える教職員

本校の教育目標を達成するための方針

「卒業後を視野に入れ、一人一人に応じた教育目標の具現化を図る。」

- (1) 障害を克服する意欲を育て、健康・安全の保持増進を図る。
 - ① 児童生徒の障害の状態や教育的ニーズを的確に把握し、医療・教育・福祉等の連携の下に、自立活動の時間はもとより、学校の教育活動全体を通して指導の充実強化を図る。
- (2) 個に応じた学習指導の充実を図る。
 - ① 指導内容を精選し基礎的・基本的事項の指導を徹底し、個々の児童生徒の実態に即した適切な「個別の指導計画」を作成し、実践する。
- (3) 基本的生活習慣の形成を図る。
 - ① 個々の児童生徒の実態に即して身辺処理能力を高めると共に、基本的な生活態度を育てる。
- (4) 豊かな人間性の陶冶を図る。
 - ① 情操教育の充実を努め、共生・共感・共同する豊かな心情をもつ児童生徒を育てる。
- (5) 通学、入所生の生活環境を理解し、課題の把握・改善に努める。
 - ① 通学に伴う児童生徒の健康・安全指導の充実を図る。
 - ② 訪問教育の教育活動(スクリーニングを含む)において、児童生徒の健康・安全指導の充実を図る。
- (6) インクルーシブ教育システムを推進し「共生社会」の実現をめざす。
 - ① 学校間や居住地校等との交流及び共同学習の充実を図る。
 - ② 理解啓発のため積極的に情報発信する。



本年度の重点(努力)目標

- (1) 教育目標を具現化し、各学部にあつては下記の目標の達成を目指す。また、PDCAサイクルを機能化させ、個々の児童生徒に対する適切な実態把握の下に、学習指導、進路指導、保健・安全指導の充実を努める。
 - ① 指導目標を明確にし学習の効率化を図り、基礎的・基本的事項の指導を徹底する。
 - ② 3観点に基づく適切な評価規準の設定に努め、指導と評価の一体化を図る。
 - ③ 教科横断的な視点による「合わせた指導」の充実を図る。(適切な手順を踏まえた指導計画の作成、指導内容の明確化・系統化及び評価との一体化、等)
 - ④ 教材・教具の創意工夫に努め、分かりやすい楽しい授業づくりをめざす。
- (2) 合理的配慮に基づき施設・設備・教育備品の整備、活用を図るとともに児童生徒の安心・安全な環境づくりを推進する。
- (3) キャリア発達の視点からキャリア教育を推進し、キャリアの発達段階4能力(「人間関係育成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意思決定能力」)を意図的・継続的に育成する。
 - ① 小・中・高一貫した進路指導体制を強化する。
 - ② キャリア発達を見据えた自立活動・各教科等の授業改善を図る。
 - ③ 医療・福祉・保健・労働等の関係機関との連携強化を図る。
- (4) 校内研修の継続的研究体制を確立し、専門性・指導力・授業力の向上を図る。
 - ① 「自立活動専科職員」を育成・活用し、教師一人一人が肢体不自由教育の専門性向上を目指す。
 - ② 専門家を積極的に活用し専門性の向上を図るとともに、学校の研究課題を明確にし、組織的に研究を推進する。
 - ③ 研修・その他教師の授業研究や実践記録の積み上げを通して、職員相互の研修意欲を高める。
 - ④ 組織的研究体制による校内研修の充実を努め、研修内容は研究紀要「あゆみ」に集録する。
- (5) 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校との交流及び共同学習や地域等との交流を推進し、相互理解及び社会的適応能力の伸張を図る。
- (6) 「緊急時対応マニュアル」「地震・火災・津波防災対応マニュアル」「不審者対応マニュアル」等を緊急時シミュレーションや各種訓練を通して活用し、児童生徒の安全体制の充実強化に努める。
- (7) PTA活動を活性化し、「肝心」にあふれたピアサポートを促進し保護者間の「共感・共有・共学関係」を育成する。